

## 序

チーム医療を推進するため厚生労働省の中に「チーム医療の推進に関する検討会」が平成21年8月に発足した。日本の実情に即した医師と看護師等の協働・連携のあり方を中心に、チーム医療の基本的な考え方、看護師の役割の拡大、看護師以外の医療スタッフ等の役割の拡大、医療スタッフ間の連携の在り方が検討され、とりまとめられた。

それらをもとに平成22年4月30日厚生労働省医政局長から「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」（医政発0430第1号）の通知が発せられた。そのなかで診療放射線技師のさらなる役割として、①画像診断における読影の補助を行うこと、②放射線検査等に関する説明・相談を行うことが求められている。さらに同年5月、看護業務検討WGが発足し、看護師の業務範囲、「特定の医行為」の範囲、特定看護師（仮称）の要件、特定看護師（仮称）の養成課程の認定基準について検討している。また、同年10月に看護師以外の専門職を対象としたチーム医療推進方策検討WGが発足し、チーム医療の取り組みの指針となるガイドラインの策定、ガイドラインを活用したチーム医療の普及・推進のための方策、各医療スタッフの業務範囲・役割について、さらなる見直しを適宜検討するための仕組みの在り方について検討している。

本会では同通知を受けて、放射線検査に関する説明・相談の普及を今まで以上に体系的に取り組むため、放射線検査説明・相談促進委員会を平成23年に発足した。同委員会では診療放射線技師が業務として関わるすべての検査について、標準的な説明書を作成し、患者さんからの質問にも十分な理解が得られるようFAQを作成した。さらに、放射線検査説明に関するガイドラインを作成して、このたび『放射線検査説明の手引き』として本書の上梓に至ったものである。今春、本会編にて発刊された『解らないことだらけの放射線被ばく』と併せて各医療機関で利用し、安心して安全な医療の提供に役立てていただきたい。

最後に、本書をとりまとめたいただいた麻生智彦委員長はじめ委員各位の皆様方、書籍の出版にあたり尽力いただいた医療科学社のスタッフに感謝を申し上げる。

平成25年11月吉日

公益社団法人 日本診療放射線技師会  
会長 中澤 靖夫